

講義コード	11C0124500	授業形態	講義	事前登録の有無	あり	担当教員		開講期	
科目名	アメリカ経済論Ⅰ／アメリカ経済A					齋藤 哲哉		第1期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	アメリカ経済論Ⅰ／アメリカ経済Aでは、クリオメトリクスの成果を紹介しながら、南北戦争以前の奴隷制度の経済分析からスタートし、奴隷解放後から公民権運動までの流れを人種差別というキーワードの下で学修し、現代のアメリカ社会が抱える問題の根本の一つを、経済史的な観点から理解できることを目指す。								
到達目標	この授業では、アメリカの社会が抱える人種問題を知ること以上に、この問題を考えることで、経済学という客観的なツールを用いて社会の状態を公正に分析し、社会的にセンシティブな問題を客観性を保って考える力を養うことが目的です。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	経済学や統計学は授業内で紹介しませんので、各自授業外学修として復習してもらいます。(計60時間以上)								
授業計画	【第1回】 ガイダンス 【第2回】 アメリカ南部の奴隷制度と経済発展① 【第3回】 アメリカ南部の奴隷制度と経済発展② 【第4回】 奴隷の健康状態 【第5回】 奴隷農園の生産性 【第6回】 奴隷市場 【第7回】 アメリカの産業革命 【第8回】 アメリカ北部の経済 【第9回】 南北対立の経済的要因 【第10回】 南部の復興 【第11回】 二つの大戦と黒人の人口移動 【第12回】 人的資本と経済成長 【第13回】 黒人の教育制度 【第14回】 公民権運動以降の人種別経済格差 【第15回】 まとめ								
成績評価の方法	この授業では、期末試験を軸に、授業中に課す課題を加味して、評価する。また、取り扱う話題がセンシティブであるが、政治的主義・主張によって成績が良くなったり悪くなったりすることは無い。								
フィードバックの内容									
教科書									
指定図書									
参考書	『Time on the Cross: Economics of American Negro Slavery』Fogel & Engerman (WW Norton & Co) 1990 (新版)、『苦難のとき－アメリカ・ニグロ奴隷制の経済学』Fogel & Engerman (田口訳) (創文社) 1981								
教員からのお知らせ	適時、資料を配布します。(一部英語)								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。								
その他									